

チャレンジコミュニティ

Challenge Community Club

通信



第30号

2015.10 vol.30



神宮外苑イチョウ並木



浜離宮燕のお茶屋



ホームカミングデイ



邦楽演奏



活動展示と交流会

CONTENTS ■ごあいさつ

芝地区総合支所 協働推進課長 太田 貴二

■平成27年度CCクラブ・ホームカミングデイ ～邦楽演奏と地域活動の紹介～

第1部 三味線演奏

あなたの知らない邦楽ワンダーランド

第2部 ご一緒しませんか?

私たちの地域活動 初心者大歓迎

■運営委員会報告・活動計画

チャレンジコミュニティクラブの

活躍に感謝！

芝地区総合支所 協働推進課長 太田 貴二

チャレンジコミュニティクラブの皆さんは、これまで培ってこられた経験やチャレンジコミュニティ大学で学ばれた知識を基に、区民参画組織や各地区総合支所の地域事業、ボランティアグループなど、積極的に地域活動を推進するコミュニティリーダーとして活躍されています。



平成20年に創設されたチャレンジコミュニティクラブは、これまで各メンバーの方がご努力を積み重ねられることにより、地域における存在感、発信力が高まるとともに、地域の活性化には欠かせない存在となっており、その役割はますます重要となっています。

具体的な例として、本稿では、チャレンジコミュニティクラブのメンバーの方の芝地区でのご活躍の一部をご紹介します。

まず、芝地区の区民参画組織「芝会議」における活躍です。芝会議は芝地区をより暮らしやすいまちにすることを目的として活動しています。そのなかの「まちの魅力発掘部会」は、「芝の語り部養成講座」の開催や「まち歩きツアー」の実施などで、精力的に活動しています。語り部養成講座などについては、講座がスタートした頃、事務局である区が中心となって運営しておりましたが、現在では養成講座の受講生であったチャレンジコミュニティクラブのメンバーを含む同部会の方々が、講座の企画立案、運営をさせていただいております。同部会では、まち歩きマップ「芝の歴史さんぽ道」も作成させていただいております。

次に、芝地区「地域情報誌編集会議」での活躍です。芝地区総合支所では、まちの魅力を発信するツールとして、地域情報誌を年4回発行しておりますが、同誌の編集委員にもチャレンジコミュ

ニティクラブのメンバーの方がいらっしゃいます。そこでは、地域の話の取材や、地域で活躍している人へのインタビューをするとともに、編集会議において、記事内容を議論していただき、地域情報誌の発行に尽力していただいております。

港区は、個性豊かな街並みや緑豊かな公園、歴史的な文化財や史跡等、伝統的なものと近代的なものとの調和した魅力あふれるまちです。このような魅力を余すことなく発信していくには、港区を心から愛しておられる区民の方の力が不可欠です。こうした観点からもチャレンジコミュニティクラブのバイタリティあふれる活躍ぶりに、心から感謝しております。

さて、平成27年度から、「港区基本計画 芝地区版計画書」に計上した様々な事業がスタートしております。

計画書を策定する過程において、区民の方が望んでおられることは、防犯、防災にとどまらず、高齢者や子育て中の人にも心配せずに暮らしていくという、人と人との支えあいや地域の交流であることがわかってきました。

そこで芝地区版計画書では、まちに関わる全ての人々が互いに支えあい、誰もが安全と安心を実感することの温かみのある地域をつくるため、芝地区の将来像として「互いに支えあう ぬくもりと安心に包まれたまち『芝』」を掲げております。

そのうえで、まちの全ての人々が支えあい、誰もが安全と安心を実感できる夢と希望に満ちた芝地区を目指して、10の施策及び46の事業を計上しております。

この計画事業を着実に実施し、芝地区の将来像を実現するためには、チャレンジコミュニティの方をはじめとする元気、勇気、活気あふれる区民の方と区が手を携え、知恵を出し合い、意見を交わしながら取り組むことが必要です。こうしたことから、チャレンジコミュニティクラブの皆さんには、さらなる区政の発展に向け、お力添えを頂くをお願いいたしますとともに、これまで以上のご活躍を期待しております。

最後になりますが、チャレンジコミュニティクラブの益々のご発展と、会員の皆さんのご健勝を心から祈念いたします。

平成 27 年度 CC クラブ・ホームカミングデイ ～邦楽演奏と地域活動の紹介～

平成 27 年度「CC クラブ・ホームカミングデイ ～邦楽演奏と地域活動の紹介～」が 7 月 22 日（水）13 時 30 分より明治学院大学白金校舎アートホールで開催されました。企画部岩村道子さん（1 期）の司会で進行され、世話人代表・斎藤正精の挨拶の後、第 1 部「三味線演奏：あなたの知らない邦楽ワンダーランド」では女性演奏家 7 名の音楽と軽妙なトークで展開されました。第 2 部「ご一緒しませんか？私たちの地域活動 初心者歓迎」では 3 人の活動発表の後に、20 の展示パネルで活動が紹介されました。総勢約 170 名が参加し、16 時 30 分に閉会しました。

＜斎藤正精 CC クラブ世話人代表挨拶＞

CC クラブはこの 4 月には 8 期生の修了生を迎え、現在在学中の 9 期生も含めると 500 名を超える大所帯になります。CC クラブとしての知名度も高くなっており、区民から CC クラブへの期待も大変大きいと思っています。

今年、「CC クラブを考える会」を発足し、今まで先輩が築いてきた良き伝統と行事やイベントを継承しつつ、新しいことに挑戦する組織にすることを検討しています。周囲の変化に対応し、大組織の運営体制を見直し、今以上に社会に貢献し寄与できるような体制を長期的に継続できるようにしたいと思っています。

皆様もご協力いただけるようお願いいたします。

第 1 部 三味線演奏：あなたの知らない 邦楽ワンダーランド

第 1 部は「あなたの知らない邦楽ワンダーランド」というテーマで、5 期中島久子（岡安祐梨絵）さんを中心とした中島勝祐記念会（中島久子さんがご主人の遺志を継いで曲の保全、後継者の育成、邦楽の普及等を行う会）の皆様の演奏です。

～越後獅子の演奏～

＜中島久子さん挨拶＞

皆様こんにちは。5 期中島です。CC 大学を 2012 年に修了してから、いきいきプラザ、国際文化交流協会、カナダ大使館、伊勢神宮などでボランティア演奏をしてきました。2012 年 6 月か



岡安祐梨絵さん

ら始め、20 回目の区切りの会をここで迎えることを、大変嬉しく思っています。

メンバーを紹介いたします。唄は岡安祐梨絵、岡安喜久波、東音平尾ひろみ、三味線は岡安祐璃、岡安香代、岡安祐璃花、笛は望月美都輔で、それぞれの流派の名前です。

本日は、皆様馴染みの深い歌舞伎の曲を、短くして演奏いたします。解説は岡安祐璃さんをお願いいたします。

＜岡安祐璃さんの解説＞

本日は「歌舞伎音楽」と題して「娘道成寺」、「鏡獅子」、「勸進帳」を演奏いたします。幕開けに演奏したのは「越後獅子」のさらしの合方です。まったく違った二つのメロディを同時に弾き合わせるという奏法で、洋楽にはない邦楽独特の奏法です。



中島勝祐記念会の皆さんの演奏

これから演奏します「娘道成寺」は安珍と清姫の物語です。白拍子花子（清姫）が女人禁制の道成寺に舞を舞うことで道成寺に入り、踊る場面を演奏します。音楽としては一人が地（ベースの音）を弾いて、もう一人が違うメロディを弾く「たま」という奏法が出てきます。またチンチリレンの合方は役者さんが着替え

をするときに観客を飽きさせないための音楽です。これも二つの違ったメロディを合せる奏法です。

～娘道成寺の演奏～

次の曲は「鏡獅子」です。上の巻は初春の鏡開きに小姓弥生が踊る場面を、下の巻は花にたわむれる蝶の踊りと獅子が毛を振り舞う姿を「狂い」「髪洗い」という合方で踊りを盛り上げています。今日は下の巻より抜粋して演奏します。

～鏡獅子の演奏～

次は勸進帳です。義経が頼朝に追われ安宅の関を越える物語ですが、今日は、関を越えて山の中に入り、関守に疑われず関を通るために弁慶が義経を打ったことを詫げる場面と、山を越え逃れゆく様子を演奏します。全曲上調子（棹にかせを掛けて高音を出す）が入り華やかにしていますが、特に最後の「瀧流し」という合方で曲を盛り上げています。

～勸進帳の演奏～

最後の曲は、中島勝祐のその処女作です。このほかに110曲素晴らしい曲があります。これから演奏するのが「松、竹、梅（まつ、たけ、うめ）」です。松には上調子が入り、竹には低音の三味線が入ります。低音の三味線は裏に穴が開いていて、低い音を出します。梅には替手（二つの違ったメロディーを弾き合わせる）を入れ、曲の雰囲気盛り上げています。この曲ばかりでなく、新しい楽しい曲が110曲ありますので、今後も楽しんでいただけたらと思っています。今日は「松、竹、梅」を全曲ではなく、少し短くしております。

～松、竹、梅の演奏～

<楽器の解説>

笛の解説

最初の方で、黒い笛と茶色の笛を取り換えて演奏していました。黒い笛は力強い音を出し、能楽から入ってきました能管という笛で、メロディを吹くことは出来ません。茶色の笛はお祭りのお囃子に使われる篠笛というもので、篠竹が使われています。竹をそのまま切って、穴を開けただけのシンプルな笛ですが、メロディを吹くことができます。篠笛は音域が狭く、2オクターブしか出ないので、いろいろな音域を出すために20～30本を持っています。その日の唄い手の音程に合わせて使うものを決めます。また、二つの笛を使い分け曲の雰囲気を盛り上げています。

三味線の解説

三味線は胴、棹、天神で構成されています。糸は3本で、絹糸です。一の糸が一番太く、三の糸が一番細いです。この糸を支えているのが駒で、糸を持ち上げてバチで糸を叩いて音を出します。

棹の上の方には上駒があって、金色の部分ですが、これも糸を支えており、「さわり」という余韻を出しています。さわりは邦楽には大切なものです。バチは象牙で、棹と胴は紅木（こうき）という紅の木を使います。皮は猫の皮です。自然の素材でできている三味線は湿気、乾燥を嫌います。演奏中でも常に糸の張りを変え、音の調整をします。雨の日の移動は特に気を遣いますが、空気に馴染ませることも抵抗力をつける為に大切です。移動の際には、3つに分解して小さな箱に入れ持ち歩きます。



岡安祐璃さんの三味線の説明

<質問コーナー>

質問：三味線の由来は？

大陸から沖縄に渡り、本土にきたものと思われます。琵琶法師が初めて手にし、最初はバチがなかったので、琵琶用のバチを使ったのが変化の始まりで、その後、試行錯誤があって現在の形になったと思われます。

質問：唄を唄う時の扇子の使い方は

長唄の場合は、唄う時に扇子を持ちます。3人一緒に唄うときは3人、一人だけで唄う時は他の人は持ちません。

質問：ボイストレーニングはどのようにしますか

基本的にはその人その人が自分なりに勉強しますが、洋楽とは違って伝承音楽ですので、師匠について習うということが一般的です。お腹から声を出し、正しく発声することによって声帯・腹筋が鍛えられると思っています。

第2部 一緒にしませんか？私たちの地域活動 初心者大歓迎

第1部終了後、丸山保夫企画部会長が、今後のイベントの案内を行い、第2部へと進みました。

介護予防リーダーの活動これから

小倉 徳子（6期）

私は介護予防リーダー養成講座を受けさせていただいて、人生観が変わるくらい良かったと思っています。

きっかけは、CCクラブに入った頃にいただいた募集チラシで、当時していた母の介護や自分の老後にも役立つかという利己的なものでした。

毎週一回、6か月間の講座でしたが、充実した机上の講座ばかりでなく、取材や施設見学など与えられたテーマを、仲間と楽しく真剣にこなしました。

港区には「元気づくりのガイドブック」はじめ素晴らしいガイドブックやチラシが豊富に用意されていることも知りました。

最後には卒業論文の提出があり、仲間の14人が提出し、13人が発表会に参加したのも有意義でした。みんなだと思ったのはここで身につけたことを社会に広げていきたいという事でした。

卒業後、介護予防フェスティバルへ参加し、体力測定のお手伝いをしたりしていますが、活動していることが自分の介護予防になります。今後は、人の輪を築いていきたい人、何か役立ちたいと思っているがなかなか踏み出せない人、何かに参加したい人を誘って人の輪を築いていく事が大切と思っています。

NPO法人 プラチナ美容塾 美容ボランティア活動紹介&美容ボランティアへのお誘い

伊藤 文子（4期）

NPO法人を立ち上げて一年になります。リタイア後、消費者問題など、アレコレ取り組みましたが、一番喜ばれることは自分が培ってきた美容力でした。現在ボランティアは13名、会員約30名となりました。

港区内で月一回の定期訪問している施設は、特養、デイサービス、障害者施設で計7箇所。近隣他区は非定期訪問で3施設。スタート期は、メイクボランティアが主な活動でしたが、受ける側もボランティア側からもハンド&ネイルのボランティアがスムーズな活動である事が分りました。また今年、港区の活動助成金をいただいた事で「ハンド&ネイルの美容ボランティア養成講座」が無料で開設出来る機会を得ました。

この講座はハンドマッサージやネイルアートではなくて、爪の健康を第一に、爪の尖った部分を整え、表面を磨き、一番荒れる指先や手のトリートメント、透明に近いカラーでネイルカラーの正しいつけ方を紹介しています。男性も大歓迎の講座です。間違いなく女性に大モテです。

皆さん、ご自分の指、爪を大切にしてください。

女性の方、帰られましたらご主人の指を、男性の方も奥様の指にソーッと触れて下さい。触れる事が大切なのです。それがボランティアなのです。

スキンケア、メイクで自分が輝く再発見も美容塾で体験していただきたい。その輝きを、地域の方々と分かち合ってください。私達NPOは美容をキッカケに、地域に貢献するイベント、ボランティア活動に注力します。地域を元気に笑顔にする活動に、皆様をお誘いしたく存じます。

白金台いきいきプラザの麻雀

大竹 裕（5期）

いきいきプラザの目標は ①地域高齢者の健康寿命の向上と介護予防（認知症予防）②生きがいづくりの場 ③地域コミュニティ強化（高齢者の居場所確保）などです。一方、麻雀参加者の意識は

①麻雀を楽しみたい（お金がかからない）②ぼけ防止に有効（麻雀は手指と頭も使う）③友達ができる、等ですがいきいきプラザの目標とも一致しています。

ここの麻雀の最大の特徴は「3ない麻雀（賭けない・吸わない・飲まない）」と誰でも参加可能な「個人自由



参加型」です。

2013年初夏に週4回、平均10～12名参加の3卓でスタートしましたが、現在では週5回、平均20名の4卓運用に拡大しました。メンバーは約60名。常連さんは30～40名位。男女比はほぼ半々。年齢は65～85歳位まで。男性は経験者が多く、女性は初心者がほとんどです。

現在ボランティアは5名。統一ルールの作成や運用、初心者の指導や点数カウントなど、メンバーに加わることもあります。また、参加者が多いのでウェイティングリストの公平な運用も大切です。

最後に会員の皆様へのお誘い ①白金台いきいきの麻雀への参加 ②麻雀経験者の方はボランティアとしての参加。将来的には白金台いきいきの麻雀モデルを

港区の他のいきいきプラザへの展開も目指したいと思っています。



展示パネル前での交流

3者の発表後、展示コーナーでの交流となりました。当日の展示内容を一覽で掲載いたします。

展示コーナー一覽

活動種類	活動内容	連絡場所	電話・メールアドレス
福祉介護予防			
介護予防リーダー	介護予防のための活動予防リーダー	介護予防総合センター ラクっちゃ	03-3456-4157 p-tamachi@central.co.jp
地域福祉ボランティア	8月夏祭り、納涼祭り、ボランティア	港区社会福祉協議会	03-6230--0281 VC@minato-cosw.net
特別養護老人ホーム サポート	ホーム利用者のお買いもの代行	特別養護老人ホーム 白金の森	03-3449-9611 shirokanenomori@foryou.or.jp
デイサービスサポート	手芸の先生やお手伝い 配菜配膳等のお手伝い	高齢者在宅サービスセ ンター 白金の森	03-3449-9615 shirokane-day@foryou.or.jp
歴史・町歩きツアーガイド・環境・自然のインタープリター			
歴史ツアーガイド	養成講座を受けて あなたも芝の語り部に	芝地区総合支所協働推 進課地区政策担当	080-4208-9909
街歩きツアーガイド	パワーアップ・プロジェクト メンバー募集	芝浦港南地区総合支所 協働推進課	03-6400-0031 minato82@city.minato.tokyo.jp
歴史・環境自然のイン タープリター	エコdeみなと歴史さんぽのインター プリターとしての活躍	港区立エコプラザ	03-5404-7764 minato.eco-toiawase@career-rise.co.jp
緑の環境保全	アドプトプログラムで地元の 環境改善	CCクラブ芝	090-1705-2912 rara1621@hotmail.co.jp
学習・健康スポーツ			
美容を通じて、 プラチナ世代を支援	“学ぶ”美容講座活動、“活かす” 美容ボランティア育成派遣活動、 “つながる”美容塾講師育成派遣	NPO法人 プラチナ美容塾	070-2187-8066
科学学習講座	「科学寺子屋（科学の勉強会）」 企画運営	サイエンスカフェ・ イン・高輪	iwamuramichiko2008@yahoo.co.jp
男の為の料理教室	男の自立・自己確立は料理から！	ブルモン料理研究会	gemspig@gmail.com
シニアのための 英語教室	東京オリンピックのボランティアを 目指し、高齢者へ英会話を教える	豊岡いきいきプラザ	03-3453-1591
港区総合型地域 スポーツ・文化クラブ	高輪地区を拠点とした有料制の スポーツ文化クラブ	港区総合型地域スポ ーツ・文化クラブ高松	080-9648-5432 t.spoorcui@softbank.ne.jp
地域コミュニティ			
コミュニティ・カフェ 高輪	コミュニティ・カフェの運営で 友達のを広げよう	CCクラブ高輪 高輪地区総合支所	03-5475-3027
麻雀教室	麻雀教室で初心者の指導を	白金台いきいきプラザ	03-3440-4627
田舎暮らし体験	ローカルの地域住民と交流、 農作業体験	竹岡倶楽部	090-4925-4728

ホームカミングデイ 参加者の声

アンケート抜粋

今回の「ホームカミングデイ」には、設営・受付・進行など大会運営に関わる人々を除いて、会員 144 名が参加し、そのうち 107 名 (74.3%) がアンケートにご協力くださいました。

問 1：各期別の回答者数

回答数が最も多い期は、7 期 (16.8%) で、9 期 (14.9%) 以下 6 期、4 期となっています。

問 2：第 1 部「邦楽演奏会」についての感想

回答者の 9 割近くの人々が、「大変楽しめた」と回答され、多くの方々に楽しんでいただいたものと思われれます。

問 3：第 2 部「地域で活動しているグループ」の感想

6 割を超える回答者が、「役に立った」と答えています。ここでは、2 割弱の人々が、「どちらとも言えない」あるいは「それほどでもない」など消極的な回答もみられます。

問 4：グループ活動の展示発表を聞いた感想

地域活動について 7 割以上の方々が、「参加したい活動があった」あるいは「参加を思案中」と回答を寄せています。魅力ある地域活動を生み出すことにより、さらなる参加者を期待できると思います。

問 5：CCクラブがどのような活動を進めて欲しいか

複数回答が見られますので、回答数 141 を母数として比率を算出しました。その結果 ①地域活動 (33.3%) ②学習活動 (26.2%) ③文化活動 (22.7%) ④親睦活動 ⑤その他となっています。

会員の感想

平成 27 年度ホームカミングデイに参加して

吉田 由紀子 (2 期)

CCクラブ 5 期生の中島久子さんとお仲間たちによる邦楽ワンダーランド。「越後獅子」の演奏に始まり「歌舞伎音楽」と題したいくつかの楽曲と創作長唄が演奏されました。普段はほとんど聴く機会のない邦楽の生演奏に耳を傾けるうちに、アートホールに響く三味線

のピンと張りつめた音色に思わず引き込まれました。

長唄三味線演奏家の中島さんを中心として、揃って芸大出身の新進邦楽演奏家の方々による演奏は、研ぎ澄まされた力強さが印象的でした。三味線の音色と澄んだ笛の響き、朗々と謡いあげる唄声が醸し出す楽曲の数々に、古くからの伝承音楽の素晴らしさを感じたひとときでした。

地域活動の紹介では、介護予防リーダ活動での地域貢献、美容を通してプラチナ世代への支援、認知症予防に役立つといわれる麻雀教室での初心者指導など、いずれも説明は分かりやすく、いきいきと楽しそうに紹介する様子が活動の充実さを物語り、加えてご自身の生きがいにも繋がっているように感じました。

展示コーナーではコミュニティ・カフェ高輪、歴史・街歩きツアー・ガイド等の紹介があり、クラブ会員が主体となって自主的に活動することで、楽しんで人との交流を深めている様子が伺えました。さらに参加者が増え活動の輪が広がっていくと良いと思いました。

平成 27 年度ホームカミングデイに参加して

岡沢 節子 (8 期)

第 1 部 三味線演奏：あなたの知らない邦楽ワンダーランドでは、邦楽の素養のないわたしは気後れしながら演奏が始まるのを待ちました。いよいよ三味線演奏家の皆さんの登壇です。中島久子さんはじめ東京芸大出身の新進邦楽演奏家の方々に、そうそうたるメンバーでした。さわやかな笑顔と語り口で、わたしを瞬く間に邦楽の世界に引きずり込んでくださいました。

笑顔いっぱいの控えめな語りで、歌舞伎の世界からさわりの演奏、そして故中島勝祐氏が作曲された曲の演奏、また、三味線や笛についてのわかりやすい楽器説明、楽譜の説明と続き、素晴らしい未知の世界に導いていただきました。演奏中の皆様の佇まいにも感動いたしました。身のこなし方から言葉では言い表すことのできない美しさと日本の伝統というものが伝わりました。

第 2 部 「ご一緒しませんか？私たちの地域活動初心者大歓迎」では、3 名の方のプレゼンがありましたが、プレゼンターの方々の熱き思いが伝わってくる語りでした。

■運営委員会報告

8期生を迎えてスタートした新年度も、ホームカミングデイや宮古島研修旅行を終え、はやくも後半になりました。ホームページ・リニューアル、CC通信29号やクローズアップCC発行など部会も活発に行われました。今年度は従来の活動に加えて、6月に「CCクラブを考える会」を発足しました。クラブ会員数は来春には500人を超えるという大組織となります。行政との協働が求められ、皆様の地域活動の実績により知名度が向上し、クラブへの期待度も高まってきております。また全員参加型のクラブ活動を目指すには、会員皆様との連絡メールなどが必須になり、ネットの活用が前提となってきております。このような環境の変化を踏まえて「クラブの目的と方向性やあるべき姿」を考え、中長期的観点でクラブが継続的に発展し、地域社会への貢献ができる運営体制の提言を行います。部会長が中心となり、前期3カ月で提言案をまとめ、運営体制の変更案などを地域CCクラブ会や運営委員会で説明いたしました。詳細につきましては、ホームページを参照してください。

今後、会員皆様の様々な意見を取り入れ、10期生を迎える来年度には新しい運営体制でスタートしたいと思います。会員皆様のご協力をお願いいたします。

(世話人代表 斎藤 正精)

■活動計画

CCクラブ 2015年度活動報告会・交流会を2016年2月27日(土) 午後に予定しています。
詳細は今後のご案内及び次号でお知らせいたします。

CC通信31号予定

CC通信31号(2016年1月上旬発行予定)にて町内会活動の特集を計画しております。なお、投稿を希望する方は会報部会までご連絡をください。

ホームカミングデイ邦楽演奏の説明詳細版をホームページに掲載予定です。

編集後記

本号は、ホームカミングデイの内容が中心です。5期中島久子さんとお仲間によります、暑さを忘れさせるような邦楽ならではの三味線の音色と、会場の和みの雰囲気会員の皆様にお伝えできるようにと、テープを起こした話し言葉での編集です。深まりゆく秋の日に、三味線に代わって、虫の声にほっと心を休ませて、この会報を手にとられ、ご一緒しませんか?の呼び声が、一人でも多くの会員に届けられ、活動の輪が広がってゆくことを願っています。(3期 関矢 加智子)

表紙写真協力/梅宮 浩司様(3期)



チャレンジコミュニティ通信 vol.30 2015年10月20日発行
 発行者 チャレンジコミュニティ・クラブ
 事務局 明治学院大学 総合企画室社会連携課
 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37
 Tel. 03-5421-5247 Fax. 03-5421-5387
 Email ccclub@mguad.meijigakuin.ac.jp
 http://www.minato-ccc.jp

会報部会
 部会長 太田 則義(7期)
 部員 南 明治(3期)
 部員 関矢加智子(3期)
 部員 三澤 清(6期)
 協力部員 大竹 裕(5期)
 協力部員 及川 廣子(6期)